

2023年3月6日

海外福岡県人会御中

東京福岡県人会国際交流委員会

2023年3月度会報「東京と福岡」

掲題会報を添付します。貴会員の皆様に配布して頂ければ幸いです。

今日は二十四節気の啓蟄です。虫も動き始め、次は春分、春の息吹が聞こえてくるようです。今年の冬は厳しかったですが、3月に入り暖かい日が多くなりました。今年の桜の開花は東京と福岡が一番早く、3月18日と予想されています。

コロナ禍発生以降、厚生労働省は屋外・屋内を問わずマスク着用を推奨してきましたが、2023年3月13日以降は「着用は個人の判断に委ねる」と発表しました。13日より屋外では原則無用、屋内では距離を保てない場合は着用、また公共機関・病院・高齢者施設等でも着用継続を推奨しています。これで都内での景色も変わってくるでしょう。

日本銀行の黒田総裁は4月に退任しますが、後任として植田和男氏が就任することになりました。植田新総裁は当面現在の異次元の金融緩和政策を維持すると発言しました。ただ現在の高インフレは暫く続きそうな雰囲気のため、何時・どのような形で政策を変更するのか（変更せざるを得なくなるのか）、その場合のインパクトはどうか注視されそうです。

2022年の国内の総出生者数が80万人を下回りました。政府は未曾有の危機であるとし、今国会で異次元の少子化対策を策定する方向です。

ただ政府は今までも手をこまねいていた訳ではありません。1990年の1.57ショック（人口減少に繋がる合計特殊出生率）以降、主だった政策をみても

エンゼルプラン（1994年）

少子化対策推進基本方針策定（1999年）

少子化対策推進基本法策定（2003年）

少子化社会対策大綱策定（2004年）

等と連綿と少子化対策関連対策を講じ、同時に目標合計特殊出生率1.80と定めましたが、現状は大きく未達となっています。

政府が検討している対策は生まれてきた子供対策（教育費補助、奨学金返済免除等）が主体となっているようですが、婚姻数（昨年52万）の減少対策も重要です。結婚したくても年収などの問題で結婚できない人口が増加、また子供を産みやすい状況を促進する改革（女性の職場復帰しやすい環境整備、男性の育児休暇取得制度の拡充等）等、総合的な対策を講じ

ることが望まれます。

同時に政府の対策として出てきていない重要且つ喫緊の課題として生産年齢人口（15－65歳）の急激な減少が挙げられます。内閣府の発表によると生産労働人口は1995年の8726万人をピークとして減少に転じ、2017年7750万人、2022年7500万人となっています。例え、新たな出生率対策が功を奏したとしても、生産年齢人口減少に歯止めがかかるのは、速くても15年後となります。総務省は現在のままだと2040年の生産労働人口は5275万人にまで下がると予測しています。この予測は現在の年齢別人口をベースにしているので、ほぼ確定した数値です。

対策としては ①労働生産性の向上（OECD 加盟38か国中29位） ②定年年齢の延長 ③更なる女性活躍 ④移民等が考えられますが、何れも解決には大きな課題があります。この問題が今まで国会で大きな論点となっていないのが残念です。

昨今、SNSで「闇バイト」を募っての凶悪犯罪が頻発しています。先日、我が家にも夜半に保険金の還付があるとの電話がありました（役所が夜遅くに電話すると思うのが可笑しかったです）。特殊詐欺の手口も巧妙化していますが、これに加えて最近闇バイトで集められたグループによる押し込み強盗が全国で多発しています。先日、比国の入局管理局の収容所をベースにして犯罪を指示していたと思われる4人組グループが日本に送検されましたが、徹底的に摘発が進むことを期待しています。

それにしても日本の安全神話はどこへ行ったのか、住みにくい国になりました。

球春到来、3月9日から第5回 WORLD BASEBALL CLASSIC-WBC が始まります。今回は大リーグからダルビッシュ投手、大谷翔平選手、ヌートバー選手、吉田選手も侍ジャパンに参加、特に大谷選手帰国後、大いに盛り上がっています。過去2回は優勝を取り逃がしているので、是非優勝してもらいたいものです。

将棋界でも藤井五冠にとって重要な棋戦が続いています。

3月5日、渡辺棋王との棋王戦（5番勝負）第3局が行われ、壮絶な終盤戦で詰めを読み誤り、敗北しました。詰将棋の天才少年と言われていた藤井五冠が最終局面で読み間違うとは、また読み間違ったと分かった時の頭を抱えた姿、天才も人間だったと妙に納得させられた一局でした。ただ藤井五冠の2勝1敗、次に勝てば、羽生さん以来の六冠となります。

今月の藤井五冠の日程は超過密で

3月5日 棋王戦第3局（対渡辺棋王 新潟）

3月8日 順位戦A級 プレーオフ（対広瀬八段 関西） 勝者は名人戦に挑戦

3月11－12日 王将戦第6局（対羽生九段 佐賀）

3月19日 棋王戦第4局（対渡辺棋王）

3月25－26日 王将戦第7局（予定）

3月29日 棋王戦第5局（予定）

全身全霊を傾注しての長時間のタイトル戦が続きます。将棋好きにはたまらない3月です。

今月の花は福岡県の県花「梅」です。

2月は受験のシーズン、東京の受験の神様である湯島天神に出かけました。その際、撮った梅の花の写真と熱海の梅園で写した写真を添付します。湯島天神では大勢の受験生と親御さんがお参りに来られていました。受験生の皆さんの奮闘を期待しています。

梅の原産地は中国で、日本には弥生時代に渡来して説が有力（他に遣唐使が持ち込んだ等）です。バラ科サクラ属に属し、果実が結実する6月6日が「梅の日」とされています。

梅の花鑑賞も良いものですが、我が家では専ら花より団子ならぬ、梅酒を楽しんでいます。

昨年の河津桜から始まり、一年間続いた花の写真シリーズも今回の梅の花で終了とします。何か次の企画を考えなければと思っていますが、直ぐには思いつかず、ちょっとお休みさせていただきます。

文責・江本